



あずっ子

こども おとな 元気いっぱい 東町小!

入間市立東町小学校学校だより

4月 8日発行

発行者 校長 野口正孝

在籍児童数473名(4/8現在)

新年度のスタート!

ご入学、進級、おめでとうございます。本日より令和4年度がスタートしました。私は本年度、お隣の藤沢北小学校から校長として異動してまいりました野口正孝と申します。コロナウィルスの脅威からすでに2年が経ちました。こうした中で4月8日から学校をスタートできることを、心から嬉しく思います。

新しく学校経営を行うにあたり、本年度の学校経営について簡単にご説明いたします。まず、学校教育目標を「自ら学ぶ子 心豊かな子 たくましい子」といたしました。学校教育は知徳体のバランスの良い成長を促していかなければなりません。そこで知育は「自ら学ぶ」、徳育は「豊かな心」、体育は「たくましい」をキーワードとして、このような学校教育目標といたしました。この学校教育目標を達成するために、本年度は大きく次の4つの経営方針で学校経営を行います。

- 1 主体的、対話的で深い学びを実践し、学力の向上をめざす
- 2 思いやりと感謝の心を持つとともに、いじめや差別を許さない心を醸成する
- 3 健康で体力のある児童を育てる
- 4 保護者、地域と連携し、共に子どもを育てる

この経営方針をもとに、各学年、クラスで具体的な教育実践を行います。

「自ら学ぶ」……○話し合い活動を通し、伝え合い、学びあい、教えあいのある授業展開

○課題、まとめと、振り返りのある授業

○タブレットを使った授業の実践と、家庭学習の習慣化

「豊かな心」……○感謝と思いやりの気持ちを「言葉」で伝える

○いじめや差別を許さない心の育成(多様性を尊重できる)

○本物に触れる体験活動の充実

「たくましい」……○体力の向上(体育的諸活動の充実)

○最後まで根気よく取り組める児童の育成

○体力を高める授業の充実



こうした実践は、保護者や地域の皆様のご協力、サポートなしでは成り立ちません。コロナ感染症防止に注意しながら地域の教育力を学習活動に取り入れるとともに、保護者、地域に開かれた学校づくりで本校の教育活動を知っていただく機会を設けていきたいと思ひます。

こうした学校経営を推進する中で、最も注意しなければならないことが新型コロナウイルスの感染防止対策です。これまで通り手洗いうがいの徹底やマスクの着用、児童が使うトイレや水道の消毒などを徹底するとともに、今年度はスマホアプリ「リーバー」を活用した健康観察を徹底していきたいと思ひます。

よく学校は「地域の要」と言われます。学校を通して地域が結び付くということです。そこで私は今年度、学校のキャッチフレーズを「子どもも おとなも 元気いっぱい 東町小」としました。子どもが元気でいること、それは学校の基本です。でも、子どもが元気でいるためには、その周囲にいるおとなが元気でなければなりません。私自身は学校教育に常に前向きに、そして元気に取り組みたいと思ひています。本校職員も新たな子どもとの生活に向けて期待を持っています。こうして子ども、教師、そして保護者の皆様や地域の皆様が元気になる学校経営をめざしてまいります。今後の保護者、地域の皆様のご協力とご支援をお願いして、学校経営についての説明を終わりにします。今年1年間、どうぞよろしくお願ひいたします。